

5年	科目	技術表現演習	演習	前期	担当	三谷 祐一朗, 鈴木 尚人 MITANI Yuuichiroh SUZUKI Naoto
機械工学科		Practices for Description of Science Contents	必修	1履修単位		
授業の概要						
<p>科学者または技術者として生きていくためには、専門知識やそれを駆使できる創造力だけでなく、熟達した科学技術文章の作成能力と、正確に伝えるプレゼンテーション能力が要求される。この授業では、それらの基礎的な能力を養成する。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		○ 4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)			
授業目標						
<p>科学技術文書： (1)適切なタイトルを付けられる、(2)キーワードを適切に選定できる、(3)文書の構成を組み立てられる、(4)適切な表現を用いて文章が書ける。 プレゼンテーション： (1)発表順や内容を適切に作れる、(2)見やすく理解しやすい資料が作成できる、(3)分かりやすく発表できる。</p>						
授業計画						
第1回	文書作成技術(1)	シラバスの説明, moodleの利用, 技術文書作成の基本ルール, 実験レポート				
第2回	文書作成技術(2)	キーワードの選定, タイトルの付け方, 技術文書としての適切な表現				
第3回	技術文書作成(1-1)	テーマの提示と説明, 班分け, ディスカッション(1)				
第4回	技術文書作成(1-2)	テーマ・キーワードの決定, 技術文書の作成(1)				
第5回	技術文書作成(1-3)	技術文書の修正(第2案の作成)(1)				
第6回	技術文書作成(1-4)	技術文書の修正(解説)(1)				
第7回	技術文書作成(2-1)	テーマの提示と説明, 班分け, ディスカッション(2)				
第8回	技術文書作成(2-2)	テーマ・キーワードの決定, 技術文書の作成(2)				
第9回	技術文書作成(2-3)	技術文書の修正(第2案の作成)(2)				
第10回	技術文書・プレゼン技術(1)	技術文書の修正(解説)(2), プレゼンのテーマ, 班分け				
第11回	プレゼン技術(2)	ディスカッション, テーマ・キーワードの決定, 方向性, 構成				
第12回	プレゼン技術(3)	プレゼン資料作成, 提出				
第13回	プレゼン技術(4)	発表(6分/人 × 12班)				
第14回	プレゼン技術(5)	プレゼン内容の修正(解説)				
第15回	総括	総括, 授業アンケート				
評価方法と基準	科学技術文書50%, プレゼンテーション50%. 総合して60点以上で合格とする. 追試験は、技術文書・プレゼン共に60点以上で合格とする。					
教科書等						
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					